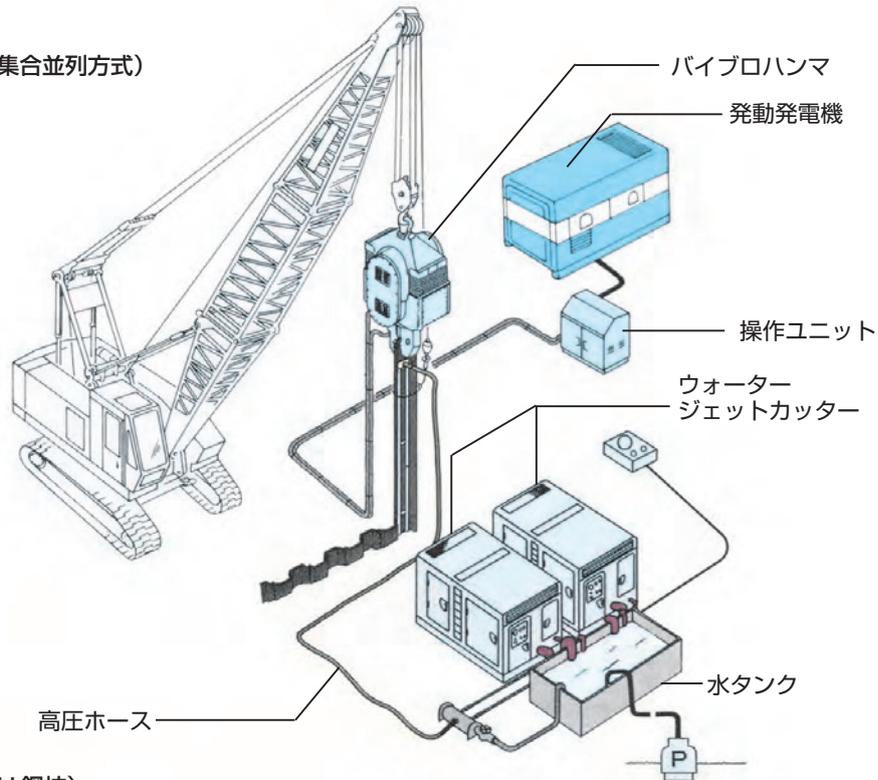




ウォータージェットカッター併用工法

JV工法

■施工例姿勢図(3台集合並列方式)



■施工手順(鋼矢板・H鋼杭)



①杭や矢板に導水パイプを取付ける。
②高圧ホースを接続。
③打込み材を吊込み打設位置に建込む。

④パイプロハンマで打込み材をチャッキング。
⑤ウォータージェットカッターを始動。
⑥パイプロハンマで打込を開始。

⑦所定のレベルに打止め後ウォータージェットカッターとパイプロハンマを停止。

⑧パイプロハンマを外し、導水パイプを引抜く。

⑨導水パイプを次の打込み材にセットし、以下同様の工程を繰り返す。

〈JV工法とは〉

ウォータージェットカッターから噴射される高圧力水と、パイプロハンマの振動エネルギーを組み合わせ、低振動施工の中で圧倒的な打込み力を発揮するのがJV工法です。

鋼管杭、鋼管矢板、H形鋼、鋼矢板、コンクリート矢板などの既製杭を、岩盤や玉石混り礫地盤を含む硬質土層をはじめ、あらゆる地盤に打ち込むことが可能です。

水と振動の効果的な組み合わせによるJV工法は、高能率、低公害(低振動・低騒音)で経済的。また、地盤の安定を損なうことなく杭の自立性を確保する安全性にもご注目ください。

リョーキはJV工法をより正しく効果的に使っていただくために、さまざまなお手伝いをさせていただきます。機種を選定を始め、振動測定(有料)など工事の工程や施工実務について専門アドバイザーによる充分なご協力をお約束します。

※機種選定には次の条件をご一報ください。

- 現地の柱状図
- 杭の条件(杭の種類・寸法・1本の長さ)
- 振動・騒音の条件

〈JV工法の特徴〉

- ①地盤と杭の形状に応じて自由に機械を組み替えられるため、あらゆる現場で使用できる。
- ②通常の地盤に限らず硬質地盤でも、施工時の地盤振動抑制効果が得られます。
- ③杭打ち機と補助機械の作業を同時進行できるため、効率が良い作業が行えます。
- ④ベースマシンは、移動式クレーンを主とするため、陸上・水上を問わず自由に振り回しができ、遠い位置や高低差がある打ち込み場所でも容易に施工できます。
- ⑤汎用機の組合せ工法のため、経済的です。
- ⑥水を用いますが、振動との組合せにより地盤の安定が図れます。
- ⑦打ち込み中に引き抜きもできるため、杭の鉛直精度を容易に確保できます。

ウォータージェットカッター併用工法

配管例

ご相談下さい

配管系部材は、転用方式・埋殺方式にかかわらず、対象となる矢板や杭の形状・長さ、地盤の土質・硬さに応じて、ウォータージェットカッターの規格・台数の選定と共に噴射孔数や口径及び配管方法について正しく設定し、現場や作業条件にもとづき、有効な作業が可能となるように慎重な対応を施す必要があります。当社の専門アドバイザーがご相談に応じます。

